

森のようちえん

森のようちえんは、自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称で、デンマークのひとりのお母さんが近所の子どもたちを森の中で保育したのがはじまりとされています。園舎も持たず、毎日を森の中で過ごす独特の保育スタイルがドイツを経て日本に伝わり、今や日本全国的に広まっています。ドイツでは各市町村にあり、政府からの補助金で運営している園もたくさんあります。



どうして森なの？

森の中で遊ぶ子どもたちの目の輝きは、そこが彼(彼女)らにとって理想的な場所である証拠。お母さんだって普段より大らかな気持ちで子どもと向き合えます。多様な自然は、一人として同じでない子どもたちをしっかり受けとめてくれる最高の空間です。幼児期の日々の自然体験は、子どもたちが将来「人間らしく」生きていくための強固な土台になるとともに、「100年先の森づくり」に確実につながる元気なタネになると私たちには信じています。

大切にしたいこと

- ① 子どもたちの「育つ力」を信じた過不足のない大人の関わり
- ② 大人も共に成長する
- ③ みんなが自分のままでいられる安心安全な空間
- ④ センスオブワンダー(神秘さや不思議さに目を見張る感性)

どんな形態があるの？

森のようちえん活動は、頻度も形態も多種多様です。
頻度 ①平日毎日 ②週3~4日 ③週1~月1回 ④週末イベント型
形態 ①預かり型 ②自主保育型 ③ハイブリッド型
④既存園自然体験型 ⑤親子参加型

関連HP 森のようちえん全国ネットワーク <http://morinoyouchien.org>

プレーパーク

プレーパークは、第二次大戦後にデンマークの焼け野原のガレキの山で遊ぶ子どもたちの顔が、大人がつくった遊具や公園で遊ぶ時より生き生きしていたことがキッカケでヨーロッパ各地に広まりました。日本では1970年代に“冒険遊び場”として東京や神奈川で始まり、今では全国に300箇所以上にまで増えています。「自分の責任で、自由に遊ぶ」、「心が折れるくらいなら骨が折れた方がマシだ」をモットーに、子どもが主体的に失敗やケガも気にせず、自分たちの「やりたい！」にとことんチャレンジできる空間です。そんな子どもたちに、過不足なく関わるブレイワーカー(ブレーリーダー)がいるのも特徴です。



どうして「遊び」なの？

遊びは子どもにとって生きることそのもの。遊びはオモチャの中にあるのではなく、子どもたちの中にあります。子どもたちは遊びを通して、人との関わり、自己発見、好奇心、創造力、挑戦、失敗など、人が成長する上で欠かせないものを獲得します。そんな子どもたちの「遊びの権利」について、国連は「子どもの権利条約第31条」で規定しています。日本も締約国のひとつ。しっかりと子どもたちの権利を保障していきたいものです。

大切にしたいこと

- ① 子どもの生活圏にあること
- ② いつでも遊べること
- ③ だれでも遊べること
- ④ 自然素材豊かな野外環境であること
- ⑤ つくりかえができる手づくりの要素があること
- ⑥ 住民主体の運営&行政と連携していること
- ⑦ 専門職のブレイワーカーがいること

森のようちえんとのつながり

森のようちえんは幼児が対象、プレーパークは何歳でもOK。対象や形態が異なるだけで、「子ども主体」、「過不足のない関わり」など基本な理念は一緒です。ならば年齢や活動で区切らずに、みんなつながって全年齢の子どもたちを見守ろうということで、岐阜県ではネットワークがあるんです!

関連HP 日本冒険遊び場づくり協会 <http://bouken-asobiba.org>

あなたもぎふ森のようちえんネットワークの仲間になりませんか？

「森のようちえん」や「プレーパーク」を始めたい！ やってます！ 興味がある！ 協力したい！ そんな方は是非、私たちのネットワークに入りませんか？ ギフ森のようちえんネットワークは、県内の森のようちえんやプレーパーク、自然体験やプレーパーク活動に興味のある保育園、幼稚園、子育て団体が登録しているネットワークで、情報交換、フォーラム、研修会、活動支援、広報、普及啓発活動などを行なっています。まずは一度お問い合わせください。

お問い合わせ 058-272-8472
岐阜県林政部 恵みの森づくり推進課

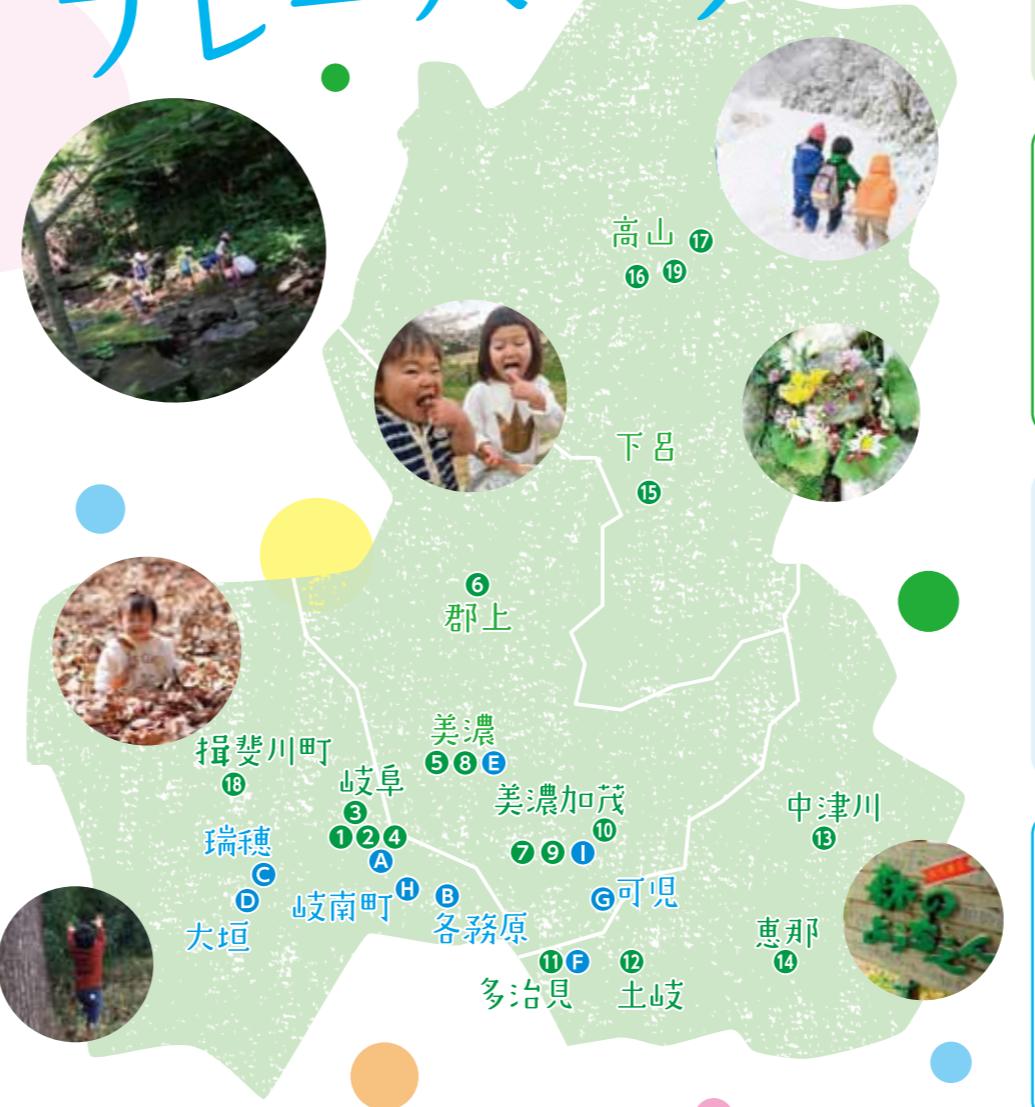
f ぎふ森のようちえんネットワーク

岐阜県内

森のようちえん & プレーパーク MAP



岐阜県内 森のようちえん&プレーパークMAP



①ぎふ☆森のようちえん

活動日 主に第4日曜日
活動場所 ながら川ふれあいの森(岐阜市)
活動の特徴 対象年齢が広く(0歳～小2)、各学年に対応したクラス分け。経験、知識豊富な指導者が集まっています。子どもたちの遊びの発想を存分に引き出しています。
<http://ameblo.jp/wald-kindergarten/>

③ぎふ森の妖精ようちえん

活動日 月・金(0歳児～園児)
活動場所 岐阜市佐野の里山
活動の特徴 フィールドの多様性(山、畑、田んぼ、小川など)。ゆっくり育てる、生きる力! 本場ドイツでの経験が活きる森のようちえん。

⑤野外自主保育 森のだんごむし

活動日 平日毎日
活動場所 岐阜県立森林文化アカデミー(美濃市)とその周辺
活動の特徴 自主保育による森のようちえん。活動の大半は森の中ですが、近所の田んぼ、炊事場、川、街への遠足など多様なフィールドで大人も子どもも一緒にになって楽しみながらやってます。
問い合わせ 080-6922-4814

⑦おさんぽの会 ありんこ

活動日 每月第2・第4火曜日
活動場所 みのかも健康の森(美濃加茂市)
活動の特徴 主役の子どもたちは思いのままに動きります。大人は見守りながら後に続きます。芝生を思いっきり走ったり、坂道を下ったり、移りゆく自然の中で親子で楽しく過ごします。

⑨美濃加茂市 森のようちえん

活動日 年4回程度
活動場所 平成記念公園未利用地(美濃加茂市)
活動の特徴 美濃加茂市では、昔からの山の姿を取り戻し、里山の魅力を再生、維持管理する「里山千年構想」の一環として、「子どもたちの遊び場としての里山」をテーマに、森のようちえんを行っています。
<http://kodomoniwa.exblog.jp/>

⑪自然育児 森のわらべ多治見園

活動日 月～木(3学期は年長のみ月～金)
活動場所 多治見市内の森、里山、畑、公園
活動の特徴 岐阜県で最初にできた森のようちえん。子どもも大人も育ちあう温かい居場所創りをめざし、「信じて待つ」を基本理念として、ようちえん・親子組・仲間組・森わら広場を展開しています。
www.morinowarabe.org

②ぎふ☆ほしのこ森のようちえん

活動日 月・火・木
活動場所 ながら川ふれあいの森(岐阜市)
活動の特徴 1歳半から親はなしの子どもだけを通う園です。子どもが自分たちで考えて行動する、待つ保育をしています。

④ながら幼稚園

活動日 年間25～26回
活動場所 ながら川ふれあいの森(岐阜市)
活動の特徴 一般的な認可幼稚園が正課で活動する、融合型の森のようちえんです。年中、年長が対象で、学年全員で園バスで森へ向かいます。

⑥山の家たんけんたい

活動日 週2～3日
活動場所 郡上市の山や川やキャンプ場など
活動の特徴 里山をたんけんして、自然豊かな郡上の四季の移ろいを五感で楽しめます。子どもに願う姿：自分で考えられる子(やりたい遊び、仲間との関係)。大人が目指す姿：子どもたちの力を信じて待つ、大地のような存在。

⑧森の野いちご会

活動日 月4回(土曜3回、平日1回)
活動場所 美濃市古城山ふれあいの森
活動の特徴 普段は保育園や幼稚園へ通っている就園児の親子散歩会。市内の山の遊歩道などを活動拠点とし、美濃の豊かな自然の恩恵を感じながら親子で楽しく遊んでいます。

⑩自然育児 こどもの庭

活動日 火～金(金は未就園児の親子さんぽ会もあり)
活動場所 可児市、美濃加茂市内、八百津町内の森や里山
活動の特徴 お母さんとスタッフによる共同保育を行っています。園の運営はお母さんが担う自主運営。人と人の温かなつながりを大切に、大人も子どもも共に育ち合う場を目指しています。森のようちえん、さくらさくらんば保育を参考にしています。

⑫野外保育 森のようちえん じゃんぐる☆ぽっけ

活動日 月・火・木・金(月・木は未就園児も)
活動場所 土岐市近郊の森、公園、畑等
活動の特徴 大家族のようないしさな森のようちえんです。ひとりひとりがありのまま輝き、それぞれのペースで育ちを楽しめます。自然の中でたっぷり遊び、たくましい心と身体を育み、命や暮らしのつながりを体感します。

岐阜県内

森のようちえん& プレーパークMAP

⑭森と暮らしの遊び場 おひさま

活動日 毎週火曜日、その他不定期
活動場所 高山市丹生川地区、市内民有林等
活動の特徴 古民家と自然を舞台に、みんなでつくり出す共同の空間。自然栽培の畑など、自然と調和した持続可能な暮らしと子育てを実践。子どもも大人も楽しめる森と暮らしのあそび場であり、子育て、自分育ちの場です。
問い合わせ 090-3629-9113(天野)

⑯自然保育所つちのこ

活動日 月～金
活動場所 高山市内の里山、里川など
活動の特徴 飛騨の豊かな自然の中で子どもを育んでる保育所です。自然をありのままに感じ、やりたい!と思ったこと、とにかくやってみよう! そんな思いから始まった小さな保育所です。やりたいこと、一緒にやってみませんか?
問い合わせ 090-3830-4182(中田)

⑰いび森のようちえん(仮)

活動日 28年度は第2・4金曜日
29年度は週に1回
活動場所 谷汲緑地公園(揖斐川町)
活動の特徴 28、29年度は準備期間として、主に親子おさんぽ会を行います。子どもたちの生きる力を培い、大人も育ちあう場を目指しています。
問い合わせ 090-7699-9183(傍島)

⑱冒険遊び場 てぢからねっこ

活動日 月1回不定期
活動場所 手力雄神社(岐阜市蔵前)
活動の特徴 地域に根ざし、(心)の根っこを育みあえる場所になることを願い、「てぢからねっこ」と命名。子どもたちをあたたかなまなざしでそっと見守り続けたい場所です。

⑲アジトであそぼうプレーパーク

活動日 第3日曜日
活動場所 各務原市鵜沼各務原町4丁目268-1
活動の特徴 NPO法人各務原子ども劇場が運営。0歳から100歳まで誰でも無料で遊べます。子どもの「やってみたい」や「ドキドキわくわく」がひろがる冒険遊び場です。

⑳みのプレーパーク

活動日 金曜放課後、月に1回は土曜日も開催
活動場所 岐阜県立森林文化アカデミー
活動の特徴 木や布や糸で好きな物を作ったり、焚き火をしたり、森に探検に出かけたり、なあ～んもないボートとしてみたり。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに「やってみたい」にチャレンジできる空間です。
問い合わせ 090-9239-9187

⑪大垣公園プレーパーク

活動日 年末始(雨の日)以外、毎日
活動場所 大垣公園(大垣市)
活動の特徴 大垣市からの受託事業として実施しています。“ハレ”的イベントではなく、日常生活中の“ケ”的出来事としてのプレーパークでありたいと思っています。

⑫たじみプレーパーク 楽風(らふ)

活動日 月1回
活動場所 多治見市立滝呂小学校裏山
活動の特徴 「心が折れるより骨が折れたほうがマシだ!!」をモットーに、「危ない! 汚い! 早く!」そんな大人の言葉を気にせずに子どもが自由に遊べる場所です。地元里山クラブが場所づくりに協力しています。
問い合わせ 090-6617-2684(三原)

⑬プレーパーク可児 オノマトペ

活動日 月1回
活動場所 我田の森(可児市)・名城大学・里山
活動の特徴 「オノマトペ」は擬音語です。ワワイドキドキ・ギャーギャー・ぐちゃぐちゃ……。プレーパークにぎやかな子どもとおとなの声・自然の音が響く……そんなイメージでつけました。

㉑arincoプレーパーク

活動日 不定期(土日祝のいすれか)
活動場所 美濃加茂市周辺の森やキャンプ場など
活動の特徴 「NPO法人happy net みのかも」が運営。たき火や野外料理、トントンギコギコ、木登りやロープ遊びなど、自然の中で季節を感じながら、オタモもコドモも自由に遊び、子育ち・親育ちの場になれたらしいなと思っています。
<http://ameblo.jp/minokamomama>

⑪☆風の子☆山のほいくえん

活動日 毎週月曜日 **活動場所** 中津川市内(苗木、蛭川、福岡等)、雀のお宿(恵那峡)
活動の特徴 豊かな自然の中で、春夏秋冬、季節の移り変わりを肌で感じながら土や水、木、草花、虫とふれあい、のびのびといきなり遊ぶことを大切にしています。森のようちえん、さくらさくらんば保育を参考にしています。

⑫皇樹の杜ようちえん

活動日 毎月第3日曜日
活動場所 下呂市萩原町四美地
活動の特徴 皇樹の杜炭焼小屋周辺
活動の特徴 次代を担う子どもたちの健やかな成長を願って、目、鼻、耳、口、手をフルに活かして、楽しい自然遊びと環境教育を行っています。

⑬山里樂耕ぼうけんぐらす

活動日 不定期 **活動場所** 東御市上原町(白雲公園、上矢作町内河川公園等)
活動の特徴 主催者の活動内容が森林保全に関わるため、地元に多くの活動の場が確保でき、また、地域の年長者のサポートを得ることができます。大人も子どもも主体性を發揮し、一緒に成長していくとを大切にしています。

⑭ひだっこやまっこ

活動日 火・木、第4土曜日
活動場所 原山市民公園ほか(高山市)
活動の特徴 親子さんぽ会、異年齢の遊び場。自然のなかで遊びこむ、自分で感じ考える、ひとりひとりの持ち味を喜ぶ、気持ちに寄り添うことを大切に、楽しんでいます♪
<http://hidakkoymakko.blog.fc2.com/>
問い合わせ 090-7863-7618(やまのうち)

㉑ぎなんプレーパーク ～ひみつのあそびば～

活動日 月一回
活動場所 岐阜市八剣北公園
活動の特徴 山も川もない岐南町ですが、身近な公園の地形や樹木を活用し、「自己責任のもと、自分たちの自由な発想で遊ぶ」空間を目指して活動しています。
問い合わせ 058-259-6305(森下)